

第 6 期仙台市介護保険事業計画策定のための実態調査の実施について

1 目的

本調査は第 6 期介護保険事業計画の策定にあたり，保険給付の将来推計の基礎となる介護サービスの利用状況・利用意向を把握するとともに，負担とサービスのあり方や保険外サービスの利用状況など，介護保険事業を含む本市高齢者施策に関する要介護者等の現状把握を目的として実施する。

2 実施期間

本年 11 月に調査票を発送し，2～3 週間程度で回収，その後集計・分析を行い，本年度中に調査結果を取りまとめる予定。

3 調査対象者

本年 10 月末時点で仙台市介護保険被保険者資格を有しており，かつ，要介護認定等を受けている方（約 39,000 人）から日常生活圏域（居住している中学校区）を考慮して無作為抽出した 5,000 人を対象とする予定。

4 調査方法

- (1) 調査票の設計，調査対象者の抽出，調査票の発送・回収等については本市が直接実施予定。調査結果の入力・集計・分析作業は，社会福祉関係調査の実績を有する業者に委託して実施予定。
- (2) 調査対象者宅に調査票を郵送し，記入後の調査票を同封の返信用封筒にて返送してもらう郵送方式を予定。なお，特別養護老人ホーム入所者については，当該施設入所者分をまとめて施設に送付し，施設職員から調査対象者等に配付してもらう予定。

5 調査項目（案）

前回調査（平成 22 年度実施）で使用した調査票をベースに，調査項目の新設・修正・削除（設問の統合）を加える。現時点での調査票（案）は別紙参照
新設・修正・削除する主な調査項目は以下のとおり。

(1) 新設する項目

「お泊りデイサービス」の利用状況，利用金額，満足度，行政等による規制の必要性に関する設問を新設 調査票案 P11 問 24(1)～(5)

近年普及が進んでいる現状に鑑み，今回その実態把握を行うもの。

「災害時要援護者情報登録制度」について，その登録状況，地域団体等からの連絡・訪問状況，地域の災害時要援護者支援の取り組みに関する設問を新設

調査票案 P27 問 55(1)～(3)

本市が災害時要援護者支援策の一環として実施している同制度に関して現状把握を行うもの。

重度な要介護状態となっても在宅で暮らせるために必要な施策に関する設問を新設

調査票案 P27 問 56

地域包括ケアシステムづくりの推進が全国的に謳われる中、在宅介護の限界点引き上げのために必要な施策について、要介護者本人や家族の意識を把握するもの。

(2) 修正する項目

現在かかっている疾病を問う設問において、「がん（悪性新生物）」「パーキンソン病」などの疾病を選択肢に追加 調査票案 P4 問 7

国が示した日常生活圏域ニーズ調査の調査票に挙げられている疾病のうち、前回の調査票に含まれていない疾病を追加するもの。

地域、NPOやボランティアによる保険外サービスの利用状況・利用意向を問う設問において、「利用していない理由」「利用したくない理由」を問う副問を追加

調査票案 P16 問 30(2), (4)

インフォーマルサービスに対する本市の考え方の検討に向けて、利用の障壁となり得る要素を把握するもの。

(3) 削除する（設問を統合する）項目

「現在利用している介護（予防）サービスを利用するきっかけ」の設問を「現在利用している在宅サービス事業者を選んだ理由」の設問に統合 調査票案 P8 問 16
設問の趣旨が似ているため統合するもの。

「介護サービスを利用して不十分だと思われる点」の設問を「現在利用している介護（予防）サービスへの不満」の設問に統合 調査票案 P9 問 18・問 20

設問の趣旨が似ているため、また、回答対象者の限定を極力なくし、わかりやすい調査票にするために統合するもの。

（「要介護1～5の方のみ回答」「要支援1・2のサービス利用者のみ回答」の設問を「在宅サービス利用者が回答」に一本化する。）

「介護サービスを利用して良いところ」の設問を削除

前回調査では、「介護者や家族の精神的・身体的負担が減る」という自明の結果となったことから、今回、(1)の新設する項目を優先して削除するもの。

6 スケジュール（案）

～10月	調査票設計，委託業者選定，調査対象者抽出
11月	調査票発送，回収
11～1月	調査結果集計・分析作業
1～2月	調査結果取りまとめ
3月	調査報告書完成

7 参考（前回調査の実施状況）

(1) 調査期間

平成 22 年 11 月 11 日～11 月 30 日

(2) 調査対象者

平成 22 年 10 月末時点において、仙台市介護保険被保険者資格を有しており、かつ、要介護認定等を受けている方（約 33,000 人）から日常生活圏域（居住している中学校区）を考慮して無作為抽出した 5,000 人

(3) 回収率等

有効回収率 63.5%（回収数 / 標本数 = 3,173 / 5,000）